

2026年度 獣医学研究科 博士課程 第1期入学試験問題  
(選択： 伴侶動物外科学 )

**【出題の意図】**

本問題は、伴侶動物外科学領域において重要な疾患である\*\*先天性門脈体循環シャント (cEHPSS) \*\*の外科治療後合併症に関する論文を題材とし、以下の能力を総合的に評価することを目的としている。

- ・ 英語原著論文を正確に読解し、必要な情報（症例数・生存数・予後）を定量的に把握する能力
- ・ 統計結果（ロジスティック回帰分析）から、臨床的に意味のある予後因子を抽出し、病態生理および臨床管理の観点から論理的に考察する能力
- ・ 得られたエビデンスを、実際の臨床現場におけるインフォームドコンセントへ適切に応用できる臨床的思考力

特に、単なる論文内容の要約にとどまらず、「なぜその因子が予後に影響したのか」・「その知見を臨床現場でどのように説明・活用するのか」を自らの言葉で整理できるかを重視しており、大学院博士課程において研究と臨床を架橋できる基礎的能力を有しているかを評価することを出題の主たる意図としている。